

宮古盛岡横断道路 宮古箱石道路 新里地区住民による現場見学会

概要

宮古盛岡横断道路は、宮古市と盛岡市を結ぶ延長約100kmの地域高規格道路であり、そのうち「宮古箱石道路」は宮古市藤原から箱石間約33kmにおいて整備する区間です。この区間は、平成23年度に事業化となりました。線形不良区間を回避し、走行性が向上するとともに盛岡市と宮古市間のアクセス性向上、救急医療施設への速達性向上等の効果が期待されます。

この度、新里生涯学習センターの生涯学習の一環として開催する『いきいきセミナー（全6回）』の第1回目として、宮古市新里地区の住民35名による現場見学会を（仮称）腹帯第2トンネルと（仮称）腹帯橋で開催いたしました。

宮古盛岡横断道路 宮古箱石道路 新里地区住民による現場見学会 開催状況

開催日時：平成28年5月18日（水）10：00～

開催場所：岩手県宮古市腹帯 地内



▲三陸国道担当者、工事業者挨拶



▲工事概要説明



▲トンネル坑内の見学



▲トンネル坑内にて工事概要説明



▲トンネル坑内安全施設説明



▲出席者による記念撮影